

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

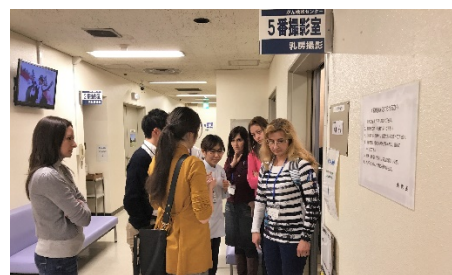
平成 30 年 3 月 5 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp



【横浜市立大学附属病院でのセルビアの医師・診療放射線技師研修生の様子】

## セルビア共和国の乳がん対策を担う医師・診療放射線技師が市内医療機関を視察

横浜市は、平成27年から独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施している「セルビア国『国家乳がん早期発見プログラム改善プロジェクト』」に協力し、同国政府の検診事業を中心とした乳がん対策の能力向上を支援しています。



この一環として2月14日から2月21日までの6日間、セルビアの医師・診療放射線技師12名が横浜を訪れ、研修を受講しました。

横浜市健康福祉局からは市の乳がん検診について講義を受けたほか、横浜市立市民病院ではマンモグラフィ撮影や検診について、横浜市立大学附属病院では症例検討や生検（患部の一部を採取して調べる検査）について、横浜労災病院ではチーム医療について実習・視察を行いました。

## アフリカビジネスセミナーを開催しました

アフリカとのビジネスのはじめ方を知る！をテーマに、2月15日に、JICA 横浜国際センターでアフリカビジネスセミナーを開催し、100名以上の方が参加しました。

JICA から、アフリカの概況や、JICA の支援を活用した民間企業のアフリカへのビジネス展開の事例などについてご紹介しました。株式会社 DMM.com と株式会社太陽インダストリーアフリカからは、アフリカでのビジネスの立ち上げ経験や、現地企業や現地の方とのパートナーシップの構築のコツなど臨場感のある講演をしました。



講演後には、活発な質疑応答が行われ、セミナー終了後も参加者の方々は、ABE イニシアティブ留学生や講師に熱心に話を聞き、情報交換をしていました。参加者からは、「現地でのビジネスが肌で感じられた」などの感想がありました。

## 「ピンクシャツデー2018in 神奈川」が開催されました

2月28日に横浜東口そごう前ひろば新都プラザで、「ピンクシャツデー2018in 神奈川」が、ピンクシャツデー2018in 神奈川推進委員会の主催で開催されました。



ピンクシャツデーは姉妹都市バンクーバー発祥の取組で、2007年、ピンクのポロシャツを着て登校したカナダの学生がホモセクシャルだといじめられ、それを知った先輩の働きかけで、学校全体でピンクのシャツや小物を身に着ける運動が広がり、自然にいじめがなくなったそうです。「ピンクシャツデー2018in 神奈川」では、コンサート、朗読劇、吹奏楽演奏、子どもたちからメッセージなどを通して、いじめ防止が発信されました。

